

当院におけるカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌（CPE）の複数検出の終息について

令和 8 年 7 月、当院の一部病棟において、複数の患者さんからカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌（CPE）が検出されたことから、所轄保健所の指導・助言を受けながら、感染対策を徹底するとともに、感染状況の把握および感染拡大防止に取り組んでまいりました。

その後も継続してスクリーニング検査等を実施した結果、一定期間、院内で新たに CPE を保菌したと考えられる患者さんが確認されなかったことから、令和 8 年 9 月 14 日（月）をもって、本事例は終息したものと判断いたしました。

これに伴い、一部病棟で実施していた入院制限につきましても、状況を確認しながら、段階的に通常の受け入れ体制へ移行してまいります。

患者さんやご家族の皆様には、長期間にわたりご不便とご心配おかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

当院では、今回の事例を踏まえ、今後も引き続き感染対策を徹底し、安全な医療の提供に努めてまいります。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 8 年 9 月 15 日

防衛医科大学校病院

病院長 塩 谷 彰 浩